CASBEE-広島 2014年版
沼田合同庁舎(仮称)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**2.9**
Q1 室内環境					**0.40**		**-**	**2.8**
1 音環境				**3.0**	0.22	-	-	**3.0**
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				**3.1**	0.40	-	-	
	1	開口部遮音性能		3.0	0.93	3.0	-	
	2	界壁遮音性能	Dr－45以上	5.0	0.07	3.0	-	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音				**3.0**	0.20	**3.0**	-	
2 温熱環境				**2.7**	0.42	-	-	**2.7**
2.1 室温制御				**2.9**	0.50	-	-	
	1	室温		2.0	0.47	-	-	
	2	外皮性能	外壁断熱材厚25　屋根断熱材厚50　窓に高性能複層ガラスを使用	5.0	0.19	3.0	-	
	3	ゾーン別制御性		3.0	0.34	-	-	
2.2 湿度制御				**2.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式				**3.0**	0.30	-	-	
3 光・視環境				**2.7**	0.05	-	-	**2.7**
3.1 昼光利用				**1.8**	0.30	-	-	
	1	昼光率		1.0	0.60	-	-	
	2	方位別開口		-	-	-	-	
	3	昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				**3.0**	0.30	-	-	
	1	昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度			平均照度500ルックス以上としている	**4.0**	0.15	-	-	
3.4 照明制御				**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**2.9**	0.32	-	-	**2.9**
4.1 発生源対策				**3.0**	0.50	-	-	
	1	化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
	2	アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気				**2.0**	0.30	-	-	
	1	換気量		3.0	0.47	-	-	
	2	自然換気性能		3.0	0.07	3.0	-	
	3	取り入れ外気への配慮		1.0	0.47	-	-	
4.3 運用管理				**4.0**	0.20	-	-	
	1	CO_2の監視		3.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御	本施設全体禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				–	**0.30**	-	-	**3.3**
1 機能性				**3.1**	0.40	-	-	**3.1**
1.1 機能性・使いやすさ				**2.8**	0.40	-	-	
	1	広さ・収納性		3.0	0.06	3.0	-	
	2	高度情報通信設備対応		1.0	0.06	-	-	
	3	バリアフリー計画		3.0	0.88	-	-	
1.2 心理性・快適性				**3.1**	0.30	-	-	
	1	広さ感・景観		3.0	0.06	3.0	-	
	2	リフレッシュスペース	休憩室(2階)、ルーフバルコニー(4階屋上)、自動販売機置場(1階)	5.0	0.06	-	-	
	3	内装計画		3.0	0.88	-	-	
1.3 維持管理				**3.5**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計	内外装材料は維持管理に配慮した材料を採用	4.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
	3	衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.6**	0.30	-	-	**3.6**
2.1 耐震・免震				**3.8**	0.50	-	-	
	1	耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する	4.0	0.80	-	-	
	2	免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**3.2**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装仕上材耐用年数20年	5.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要配管材にビニル管を採用	4.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性				3.8	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用。上下水道は災害時の対策を考慮	5.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	災害時の機能を維持するため、受水槽の設計震度をKH=1.5としてい	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	災害時の機能を維持するために、機器の電源は発電機回路としてい	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	1階階高＝3.9m　　2階3階4階各階高＝3.7m	4.0	0.11	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.19	4.0	0.89	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3　室外環境（敷地内）				–	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			広島市景観計画に基づき良好な景観を形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR　建築物の環境負荷低減性				–	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				–	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm値　0.9	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI　　非住宅 0.68　　住宅（専有部）ー	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3b　BEIm値　0.68	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				–	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			擬音装置及び節水型器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材は容易に分別可能・内装材と設備は錯綜しない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			仕上げ材に指定化学物質は含まない	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤（断熱材等）		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				–	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			積極的な省エネルギー対策	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.2	0.33	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.50	-	-	
	2	振動		3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-			
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	